

令和 6 年度

歴史資料館年間報告書

Historical Museum Report

古賀市立歴史資料館



目 次

I	令和6年度 事業実績一覧	2
II	事業報告	5
	1. 自然史・歴史講座（全3回）	
	第1回 講演会 「わが国の庚申信仰と古賀の庚申塔」	
	第2回 現地学習「山粧う小野歩き」	
	第3回 現地学習「糟屋の神功皇后伝説の地を巡る」	
	2. 展示	
	企画展 「路傍の祈り～暮らしの中の身近な祈り～」	
	特集展示「戦争とくらし～日常生活の変化に見る戦争の影～」	
	「義の武人 高橋紹運～立花宗茂の実父の生き方～」	
	船原古墳パネル展「古賀の宝 船原古墳の世界」	
	出張歴史資料館	
	3. 特別事業	
	古賀が生んだ特撮美術の匠 井上泰幸のセカイ展	
	図書館・歴史資料館開館30周年記念事業	
	4. 教育普及	
	子ども歴史講座（全4回）	
	れきし体験パスポート	
	施設見学	
III	来館者数	18
IV	令和7年度 目標及び事業計画	19

I 令和6年度 事業実績一覧

《自然史・歴史講座》

事業名・講師等	開催日	参加者数	内 容〔開催場所〕
第1回（講演会） 「わが国の庚申信仰と古賀の庚申塔」 講師：森 弘子 氏 （古賀市文化財保護審議会会長）	8月10日（土）	56人	【企画展関連事業】 日本の庚申信仰と古賀の庚申塔について 〔交流館 多目的ホール〕
第2回（現地学習） （第24回市民ウォーキング） 「山粧う小野歩き」	11月23日（土・祝）	23人	【企画展関連事業】 小野小学校区の史跡を巡る 〔古賀市薦野・米多比〕
第3回（現地学習） 「糟屋の神功皇后伝説の地を巡る」	3月12日（水）	25人	【特集展示関連事業】 旧糟屋郡にある神功皇后伝説ゆかりの地を巡る 〔古賀市、久山町、福岡市東区、篠栗町、宇美町〕
合 計		104人	

《展示》

事業名		開催日・期間	観覧者数	内 容〔開催場所〕
企画展 「路傍の祈り～暮らしの中の身近な祈り～」		7月20日（土）～ 9月1日（日）	1,359人	市内にある、身近な祈りの対象について 〔歴史資料館ギャラリー〕
特集展示	「戦争と暮らし ～日常生活の変化に見る戦争の影～」	12月1日（日）～ 15日（日）	398人	戦争が人々の日常生活に及ぼす影響について 〔歴史資料館ギャラリー〕
	「義の武人 高橋紹運 ～立花宗茂の実父の生き方～」	3月1日（土）～ 16日（日）	1,032人	立花宗茂の実父、高橋紹運の生き方について 〔歴史資料館ギャラリー〕
船原古墳パネル展 「古賀の宝 船原古墳の世界」		5月18日（土）～ 6月9日（日）	612人	初心者向けの船原古墳紹介パネル展示 〔歴史資料館ギャラリー〕
		1月13日（月・祝） ～19日（日）	—	船原古墳PRのためのパネル展示 〔アクロス福岡コミュニケーションエリア〕
出張歴史資料館	第23回古賀市子ども わくわくフェスタ	11月24日（日）	397人	昔のあそび体験 〔歴史資料館 中会議室〕
合 計		3,798人		

《特別事業》

事業名	期間	観覧者数	内 容〔開催場所〕
古賀が生んだ特撮美術の匠 井上泰幸のセカイ展	9月7日(土)～ 10月6日(日)	4,259人	古賀の偉人 井上泰幸氏の紹介パネル や旧岩田屋デパートを再現したミニ チュア展示 など 〔歴史資料館ギャラリー 他〕
図書館・歴史資料館開館 30 周年記念事業	9月29日(日)～ 10月20日(日)	1,382人	開館から令和6年度までに開催したイ ベントを写真やポスターでふりかえ るパネル展示 など 〔中会議室 他〕
合 計			5,641人

《教育普及》

事業名・講師等	開催日	参加者数	内 容〔開催場所〕
第1回 「古賀の遺跡を探検しよう」	4月27日(土)	9人	市内の遺跡をバスでめぐり、現地で見 学 〔みあけ史跡公園、古賀グリーンパー ク、船原古墳〕
第2回 「杏葉づくり・勾玉づくり」	7月26日(金) 7月27日(土)	33人	・石こうで杏葉づくり ・滑石で勾玉づくり 〔歴史資料館 中会議室〕
第3回 「縄文土器をつくろう」 講師：香川 義文 氏 (古賀市陶芸同好会代表)	9月14日(土)	14人	縄文土器づくり 〔交流館 102 工芸室〕
第4回 「古代食ってなあに？」	11月10日(日)	10人	どんぐりクッキーづくり など 〔交流館 101 調理室〕
合 計			65人

事業名	期間	参加者数	内 容〔開催場所〕
夏休みれきし体験パスポート	7月20日(土)～ 9月1日(日)	322人	歴史資料館展示物に関する「クイズ」 や、けん玉、紙ずもうなどの「むかし のあそび」体験 など 〔歴史資料館展示室・ギャラリー〕
冬休みれきし体験パスポート	12月21日(土)～ 1月13日(月・祝)	61人	
春休みれきし体験パスポート	3月20日(木・祝) ～4月6日(日)	98人	
合 計			481人

■団体見学実績一覧

事前申込みで、学校の施設見学・教科学習や一般団体の生涯学習で歴史資料館見学の対応を行った。

	月	団体名	見学者数	内容
1	6月	福岡大学	43人	・船原古墳と宗像地域との関連性について
2		一般社団法人 歴史と自然をまもる会	16人	・船原古墳、文化財、遺跡について
3		古賀東小学校2年生	107人	・公共物、公共施設の利用方法
4	9月	古賀中学校1年生	246人	・公共物、公共施設の利用と活用方法
5	11月	青柳小学校6年生【出前授業】	45人	・青柳宿について
6		遠賀町立島門小学校3年生	78人	・昔の道具や暮らしについて
7	12月	株式会社国際交流サービス	29人	・船原古墳について
8	3月	古賀西小学校3年生	110人	・昔の道具や暮らしについて・市のうつりかわり
9		株式会社南海国際旅行	21人	・船原古墳について
合 計			695人	

■実習生受入れ一覧

・なし

《刊行物》

- ・『令和6年度古賀市立歴史資料館企画展図録「路傍の祈り～暮らしの中の身近な祈り」』の作成・発行
- ・れきしのアルバム No. 47『「青柳高等小学校」物語』の作成・発行

《所蔵資料整理業務》

- ・「青柳村耕地図」「青柳村全図」について、後世継承のためデジタル化を行った。

《資料収集整理活動》

- ・令和6年度の寄贈は1件で、全187点及び古文書類

	内 容	点数
1	奉納写真	187点



「路傍の祈り」表紙



れきしのアルバム No.47



Ⅱ 事業報告

1. 自然史・歴史講座（全3回）

郷土古賀の自然史・歴史、偉人への興味を高めるとともに、古賀の良さを知ってもらうことを目標とする。

■第1回（講演会）

演 題：わが国の庚申信仰と古賀の庚申塔

開 催 日：令和6年8月10日（土）

会 場：交流館 多目的ホール

講 師：森 弘子 氏

（古賀市文化財保護審議会会長）

参加者数：56人



講演会の様子

企画展「路傍の祈り」の関連事業として開催。

古賀市文化財保護審議会会長である森弘子氏を講師にお迎えし、「わが国の庚申信仰と古賀の庚申塔」をテーマにご講演いただいた。

はじめに、庚申信仰について説明をされた。続けて、庚申信仰の歴史、庚申塔の出現について話された。庚申信仰について、古賀市だけではなく、宇美町や太宰府市、東京の例をあげて、地域ごとの傾向について説明された。古賀市の庚申塔については、企画展の内容を交えながら、写真とあわせて紹介をされた。

最後に、古賀市小竹にある正面金剛像を例に、庚申塔に彫られた内容や意味について解説をされ、講演を終了した。

■第2回（現地学習）（第24回 市民ウォーキング） ※生涯学習推進課との共同事業

テ マ：山粧う小野歩き

開 催 日：令和6年11月23日（土・祝）

コ ー ス：①山粧う小野歩きコース（7km）

②興山園の紅葉狩りコース（5km）

③路傍の祈りコース（5km） ※歴史資料館長ガイド付

参加者数：①25人、②40人、③23人（定員30人/事前申込）

小野小学校区の史跡をめぐるウォーキングを実施。「③路傍の祈りコース（5km）」が歴史資料館長ガイド付で、資料を片手に計10か所のポイントに立ち寄り、説明を行った。



観世音菩薩



天降神社



庚申塔

■第3回（現地学習）

テ ー マ：糟屋の神功皇后伝説の地を巡る

開 催 日：令和7年3月12日（水）

見 学 先：皇石神社、須賀神社、斎宮（古賀市）、斎宮（久山町）、香椎宮、太祖宮、
宇美八幡宮（古賀市、久山町、福岡市東区、篠栗町、宇美町）

参加者数：25 人

1945年の敗戦までは最も日本史上で有名な女性と言える「神功皇后」。今回は、神功皇后の伝説が最も多いとされる「旧糟屋郡（今の福岡市東区・古賀市・糟屋郡）」を巡り、神功皇后への理解を深めた。古賀市史跡案内ボランティアの方々にもご協力いただき、現地学習を実施した。

市内にある神功皇后伝説縁の地を巡った後、久山町上山田にある斎宮、福岡市東区の香椎宮へと移動した。香椎宮と最終目的地の宇美八幡宮の見学では、3グループに分かれて解説を行った。



斎宮（小山田）：古賀市



斎宮（上山田）：久山町



香椎宮：福岡市東区



太祖宮



宇美八幡宮：宇美町



2. 展示

郷土古賀に関する歴史や文化財、偉人などに興味をもってもらうことを目標とする。

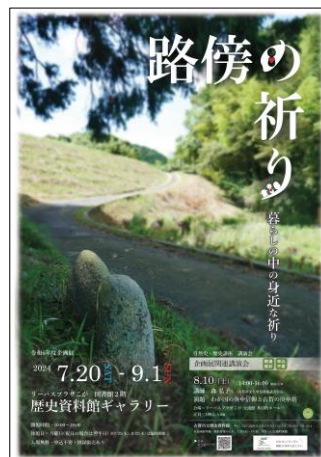
■企画展

テーマ：路傍の祈り～暮らしの中の身近な祈り～
会期：令和6年7月20日（土）～9月1日（日）
会場：歴史資料館ギャラリー
観覧者数：1,359人

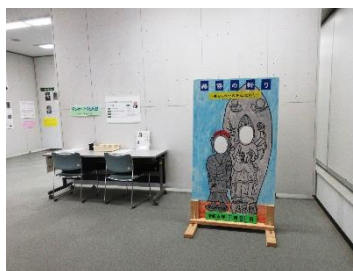
市内には、寺院や神社の他に、地域の人々の熱心な信仰の証である祈りの対象が、様々な形で今でも多く残っている。しかし、近年の開発や社会構成の変化に伴って、それらも少しずつ失われていく傾向にある。企画展では、そのような先人から受け継がれてきた身近な信仰の対象を、「路傍」に焦点をあてて紹介をした。

路傍にある祈りの対象について、「庚申塔」「お堂」「小祠など」の3つに分けて、説明パネルと写真で紹介をした。説明パネルでは、わが国の民間信仰の概要や、庚申信仰のうつりかわり、仏教信仰の民衆への広がりなどについて解説をした。今回のテーマは実物の展示が難しいため、各地域の庚申塔やお堂を撮影し、写真パネルを展示した。またそれらが身近にあるものだと見てわかるように、所在地を落とし込んだ地図を展示した。

ほかにも、等身大の庚申塔パネルや会場入口に顔はめパネルの設置、関連テーマである市内の神社をまとめた本『古賀市立歴史資料館ライブラリー第2集「神々の系譜」』（令和5年度発行）を紹介するコーナーを設けるなど、幅広い世代が楽しく観覧できる展示を行った。



ポスター



会場

■特集展示

◆テーマ：戦争とくらし～日常生活の変化に見る戦争の影～

会 期：令和6年12月1日（日）～15日（日）

会 場：歴史資料館ギャラリー

観覧者数：398人

平和を願い、その意識を継承していくために、毎年12月8日の太平洋戦争開戦日の時期に、特集展示として、パネルや歴史資料館所蔵資料を展示する。

令和6年度は「日常生活の変化に見る戦争の影」をテーマに実施。

戦争が人々の日常生活に及ぼす影響について、説明パネルと関連資料を展示した。

最終日には、関連イベントとして、絵本の読み聞かせ会と、市民によるギャラリートークを実施した。ギャラリートークのテーマが「原爆とラジオゾンデ」であることから、特集展示では原爆に関するパネルを新規に作成し、展示を行った。



会 場

【関連イベント】

絵本の読み聞かせと開放型サロン

市民有志によるお話し会。読み聞かせを通して、戦争と平和について考えるイベントを開催した。

テーマ：えほんでしろう “へいわ” ってどんなこと？

日 時：12月15日（日）

会 場：交流館 304 和室

参加者数：28人



イベントの様子

市民によるギャラリートーク

大学生の時、長崎原爆の際に米軍が投下したラジオゾンデの調査にあたられた藤野さん（98歳）によるお話。

テーマ：原爆とラジオゾンデ～日米科学技術の格差～

日 時：12月15日（日）

会 場：歴史資料館 中会議室

語 り 手：藤野義一さん

参加者数：18人



イベントの様子

◆テーマ：義の武人 高橋紹運 ～立花宗茂の実父の生き方～

会 期：令和7年3月1日（土）～16日（日）

会 場：歴史資料館ギャラリー

観覧者数：1,032人

立花宗茂の実父である高橋紹運の生き方について、説明パネルで紹介をした。系譜と年表資料を手元資料として配布した。



会 場

■船原古墳パネル展

◆テーマ：古賀の宝 船原古墳の世界

会 期：【歴史資料館ギャラリー】令和6年5月18日（土）～6月9日（日）

【ア ク ロ ス 福 岡】令和7年1月13日（月・祝）～19日（日）

観覧者数：【歴史資料館ギャラリー】612人

船原古墳の周知活動の一環として、初心者向けの船原古墳の紹介パネルと、船原古墳1号土坑から出土した馬具などを紹介するパネルの展示会を開催した。歴史資料館ギャラリーでは、最新情報として、「馬装」パネルを新たに展示した。



歴史資料館ギャラリー



アクロス福岡

■出張歴史資料館

市内外で開催されるイベントに出展して、分かりやすく郷土の歴史を発信することを目標とする。

◆第23回古賀市子どもわくわくフェスタ ※青少年育成課との共同事業

テ マ：むかしのあそび

開 催 日：令和6年11月24日（日）

会 場：歴史資料館 中会議室

参加者数：397人

第23回古賀市子どもわくわくフェスタに出展をした。「むかしのあそび」をテーマに、けん玉や紙相撲などの合計5種類のあそび体験コーナーを設置して、子どもから大人まで自由に体験をしてもらった。



3. 特別事業

■古賀が生んだ特撮美術の匠 井上泰幸のセカイ展

古賀出身の特撮美術監督である井上泰幸氏について、広く知ってもらうことを目標とする。

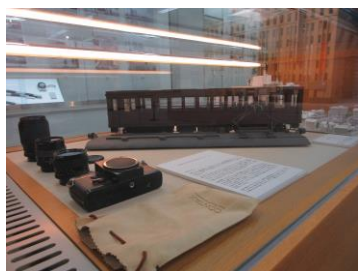
会 期：令和6年9月7日（土）～10月6日（日）

会 場：歴史資料館ギャラリー

観覧者数：4,250人

映画「空の大怪獣ラドン」（1956年）に出てきた旧岩田屋デパート（現パルコ）を再現したミニチュアをはじめ、井上泰幸氏が愛用した道具や市民から提供のあった当時の岩田屋の資料、井上氏の功績や家族を紹介したパネルなどを展示。

また、関連イベントとして、特撮の魅力を発信する上映&トークショーやギャラリートークなどを実施した。



会 場

【関連イベント】

上映&トークショー

1 日目には、井上泰幸氏が特撮美術を担当した作品『ウルトラ Q』の上映会や、井上泰幸氏の姪・東郷登代美氏と井上泰幸氏に学んだ特撮美術監督・三池敏夫氏によるトークショーを開催。

2 日目には、「特撮の神様」と称される円谷英二監督の出身地であり、特撮を文化事業に据える福島県須賀川市の事例を踏まえ、行政が特撮を取り上げる意味、文化としての特撮が行政や市民に何をもたらすのかについて、田辺市長とゲストが話しを繰り広げた。



会場受付

テ ー マ：井上泰幸・テレビの仕事『ウルトラ Q』編

開 催 日：9月21日（土）

会 場：中央公民館大ホール

入場者数：240 人

内 容：上映 『ウルトラ Q』2 作品・・・『ゴメスを倒せ！』『クモ男爵』

トークショー 『井上泰幸とは 井上との思いで』

『テレビ現場の井上の技 現場エピソード 怪獣デザイン』

『岩田屋の再現について』

テ ー マ：文化として根づく特撮

開 催 日：9月22日（日）

会 場：中央公民館大ホール

入場者数：250 人

内 容：上映 『巨神兵東京に現わる』（本編+メイキング）

すかがわ特撮塾 塾生制作怪獣映画（田口清隆監督制作指導）

『魂の叫びヨロイガー』（本編+メイキング）

『エスターガ 愛と命と怪獣と』（本編）

トークショー 『行政が特撮を取り上げる意味』、『特撮が市民にもたらすもの』

怪獣談話室

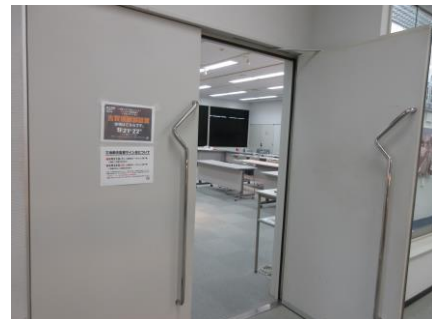
本イベントに関連したグッズや書籍を販売。21 日（土）の上映&トークショー終了後には三池敏夫氏のサイン会を開催した。

最終日記念ギャラリートーク

開 催 日：10月6日（日）

会 場：歴史資料館ギャラリー

内 容：井上泰幸氏の姪・東郷登代美氏（遺族代表）によるギャラリートーク



怪獣談話室入口

■図書館・歴史資料館開館 30 周年記念事業

令和 6 年 11 月 1 日に、図書館は移転開館・歴史資料館は開館して 30 年が経った。両館を利用してくださる皆さまへ、感謝の気持ちを込めて記念イベントを開催。

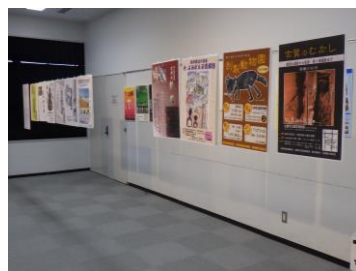
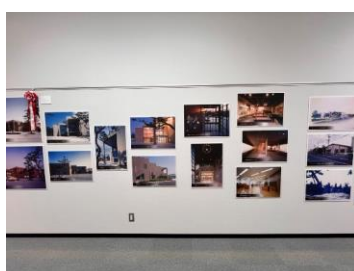
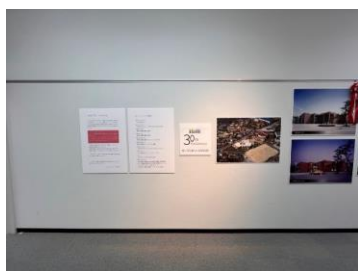
会 期：令和 6 年 9 月 29 日（日）～10 月 20 日（日）

会 場：歴史資料館 中会議室

観覧者数：1,382 人

開館から令和 6 年度までの 30 年間に開催した図書館のイベントや、歴史資料館企画展のポスターなどを写真とパネルで紹介した。

関連イベントとして、キーワードラリーやメッセージボード、顔はめパネルの設置をした。



会 場

【関連イベント】

キーワードラリー

図書館・歴史資料館・中会議室内に隠された文字を探し、並び替えて正解の言葉を導き出すイベント。正解者の中から抽選で記念品を贈呈した。

会 期：9 月 29 日（日）～10 月 20 日（日）

会 場：図書館・歴史資料館・中会議室

参加者数：260 人（うち抽選参加者数：205 人）



イベントの様子

メッセージボード

「あなたの図書館・歴史資料館の思い出」をテーマに、利用者からメッセージカードを募集し、ボードに貼り出した。市民参加型のイベントで、幅広い世代が参加している様子が見受けられた。

会 期：9月29日（日）～10月20日（日）

掲示場所：図書館エントランス

※カード配布は図書館・歴史資料館の受付

参加者数：408人



掲 示

顔はめパネル

図書館・歴史資料館のキャラクターを使った顔はめパネルを設置した。イベント終了後は、歴史資料館展示室に撮影ブースを設けた。

会 期：9月29日（日）～10月20日（日）

場 所：図書館エントランス



顔はめパネル

土器パズル

歴史資料館展示室に、海の道むなかた館所蔵の土器パズルを体験できるブースを設置した。土器パズルは全部で3種類借用し、約1週間ごとに入替えをした。また世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島の説明パネルとパンフレットを併せて設置した。

会 期：9月29日（日）～10月20日（日）

場 所：歴史資料館 展示室



イベントブース

4. 教育普及

■子ども歴史講座（全4回）

体験学習を通じて郷土の歴史に興味をもってもらうことを目標とする。

◆第1回 「古賀の遺跡を探検しよう」

開催日：令和6年4月27日(土)

見学先：鹿部田渚遺跡（現みあげ史跡公園）

馬渡・束ヶ浦遺跡（現古賀グリーンパーク）

船原古墳

参加者数：9人（内訳：小学生8人＋中学生1人）＋同伴者4人



【事前学習】

「古賀の遺跡」について、資料とパワーポイントを使って説明を行った。今回、見学をする3つの遺跡については、特徴や出土遺物などを具体的に紹介し、現地学習への理解へとつなげた。



【鹿部田渚遺跡】

穴を掘った地面に柱を埋める「掘立柱」で建造された、役所的な建物が見つかったことを説明した。



【馬渡・束ヶ浦遺跡】

青銅器がそろって見つかったことを説明した。
また、グリーンパーク内にある未調査の古墳を見つけるクイズを出題。参加者は、普段遊んでいる公園が遺跡だったことに驚いた様子だった。



【船原古墳】

船原古墳の土坑の位置や大きさを確認した。
また、資料や船原古墳オリジナルクリアファイルを使って、船原古墳1号土坑の出土遺物を改めて紹介した。



【歴史資料館見学】

講座で学習した遺跡の出土品を歴史資料館で見学した。

◆第2回 「杏葉づくり・勾玉づくり」

開催日：令和6年7月26日（金）、27日（土）

会場：歴史資料館 中会議室

参加者数：33人（内訳：杏葉づくり 15人、勾玉づくり 18人）

「杏葉づくり」

市唯一の前方後円墳「船原古墳」についての説明をしたあと、体験活動を実施。

体験活動では、船原古墳1号土坑から出土した、鳳凰文心葉形杏葉の石こう模型作りと石こう模型に絵具で着色する体験を行った。

最後に、歴史資料館展示室を見学して、船原古墳への理解につなげた。



「勾玉づくり」

勾玉の用途や種類などについて、土偶や埴輪、歴史資料館で展示をしている勾玉の写真を用いて説明をしたあと、体験活動を実施。

体験活動では、作り方の動画を視聴してから作業に移った。滑石をサンドペーパーで削り、仕上げ用のペーパーで磨いた後、職員が染料で着色をした。染料が乾くまでの時間を活用して、歴史資料館に展示される勾玉の見学を行った。



講座の様子

◆第3回 「縄文土器をつくろう」

開催日：令和6年9月14日（土）

会場：交流館 102 工芸室

講師：香川 かがわ 義文 よしふみ 氏（古賀市陶芸同好会代表）

参加者数：14人

縄文土器の種類や作り方についての説明をしたあと、縄文土器に触る体験を行い、子どもたちに文様の違いを感じてもらった。原体（木や竹や貝殻などの文様をつけるための道具）の使い方を目の前で見てもらい、体験活動の準備とした。



講座の様子

体験活動では、古賀市陶芸同好会代表の香川義文氏に指導していただき、長く伸ばした粘土を積み上げて作る「輪積み法」で土器作りを行った。原体を使って好きな文様を描き、オリジナルの土器を完成させた。

◆第4回 「古代食ってなあに？」

開催日：令和6年11月10日(日)

会場：交流館 101 調理室

参加者数：10人

縄文時代・弥生時代の人の食べものや入手方法についての説明をしたあと、体験活動を実施。

体験活動では、どんぐりの粉を使った「どんぐりクッキー」、赤米・黒米・白米を混ぜあわせた「古代米おにぎり」を作った。クッキーが焼きあがるまでの間に、石器を使った「どんぐりの殻割り・すりつぶし」体験や、石包丁（レプリカ）で古代米（赤米・黒米）の穂刈り体験を行った。



講座の様子

■れきし体験パスポート

歴史資料館に親しんでもらい、郷土の歴史を楽しみながら学んでもらうことを目標とする。学校長期休業中、小中学生を対象に実施。

◆夏休みれきし体験パスポート

期間：令和6年7月20日(土)～9月1日(日)

参加者数：322人

内容：展示物・企画展に関するクイズラリー、昔のあそび

◆冬休みれきし体験パスポート

期間：令和6年12月21日(土)～令和7年1月13日(月・祝)

参加者数：61人

内容：展示物に関するクイズラリー、昔のあそび

◆春休みれきし体験パスポート

期間：令和7年3月20日(木・祝)～4月6日(日)

参加者数：98人

内容：展示物に関するクイズラリー、昔のあそび

■施設見学

歴史資料館では子どもたちの教育普及や一般向けの生涯学習の一環として、事前申込みで施設見学を受け入れている。館内は市内から発掘された出土品の展示や郷土の歴史の紹介、昔の暮らしを知ることができる古民具等を配置し、分かりやすい解説と展示を心がけて子どもたちの学びに力を入れている。

学校の教科学習見学では、学習のねらいやスケジュール等について、学校と事前に打ち合わせをして進めている。机上で学ぶより、実物を見ながら歴史資料館職員の説明を受けることで、日頃とは違う学びが提供できている。

今年度は出前授業の依頼もあり、歴史資料館長が市内の学校に出向いて授業を行った。

歴史を学ばれている方々の見学では、文化財係が対応することで、より専門的な解説を行うことができている。



出前授業の様子

Ⅲ 来館者数

令和6年度 開館日数及び来館者数

月	開館日数	来館者数
4月	24日	619人
5月	26日	479人
6月	25日	688人
7月	23日	1,040人
8月	25日	740人
9月	23日	1,711人
10月	26日	813人
11月	25日	630人
12月	23日	564人
1月	21日	517人
2月	23日	475人
3月	25日	905人
合計	289日	9,181人
月平均	24日	765人
日平均		32人

※企画展準備・片付けのため、一部休館：7月17日（火）～19日（金）、9月3日（火）

【過去3年間の日平均来館者数】

年 度	日平均来館者数
令和3年度	21人
令和4年度	21人
令和5年度	30人

IV 令和7年度 目標及び事業計画

■目標

- (1) 郷土古賀の歴史を学習する「自然史・歴史講座」を開催し、講演会、施設見学及び史跡等に出向いての現地学習などを行い、参加者の自然史・歴史、郷土の偉人への興味を高めるとともに、古賀のよさを知ってもらう機会とする。
- (2) 小中学生を対象に「子ども歴史講座」を実施し、体験や講義を通じて、大昔の人々の生活や郷土の文化財を学習する機会を提供する。
- (3) 国史跡船原古墳に関して、古賀市ホームページやフェイスブックなどを活用した広報活動のほか、パネル展示などを実施することで市内外への情報発信に努める。
- (4) 市内にある身近な祈りの対象を取り上げ、文化財を身近に感じてもらうことで、ふるさと「古賀」への関心を高める。
- (5) 市内外で開催されるイベントに出展、または参加し、分かりやすく郷土の歴史を発信する。
- (6) 古文書、民具、昔の写真など郷土に関わる資料の収集を行うとともに、地域の高齢者から昔の生活の様子などの聞き取りを行い、それらの整理・保存に努める。
- (7) れきしのアルバム No. 48 のデータを作成し、ホームページに掲載する。

■事業計画

《自然史・歴史講座》

事業名・講師等	開催日	内 容〔開催場所〕
第1回【講演会】 「戦争を記憶する ～福岡県の戦争遺跡 その保存と活用～」 講師：森井 啓次 氏（九州歴史資料館 企画主幹）	8月10日（日）	【企画展関連事業】 福岡県に残る戦争遺跡の保存と活用について 〔交流館 多目的ホール〕
第2回【現地学習】 （第25回市民ウォーキング）	11月22日（土）	歴史や文化財を見学しながら市内を歩く 〔古賀市内〕
第3回【現地学習】 「戦争遺跡を訪ねるⅡ」	3月	北九州市にある戦争遺跡を見学 〔北九州市〕

《展示》

事業名	期 間	内 容〔開催場所〕
企画展 「戦後80年特集 戦争とくらし」	7月19日（土）～ 9月7日（日）	「青柳村役場兵事関係資料」を中心に、解説パネルと資料を展示 〔歴史資料館ギャラリー〕
船原古墳パネル展 「古賀の宝 船原古墳の世界」	9月13日（土）～ 23日（火・祝）	初心者向けの船原古墳紹介パネル展示 〔歴史資料館ギャラリー〕

《教育普及》

事業名・講師等	開催日	内 容〔開催場所〕
第1回「古賀の遺跡を探検しよう」	5月17日（土）	市内の遺跡をバスでめぐり、現地で見学 〔みあけ史跡公園→古賀グリーンパーク→船原古墳〕
第2回「杏葉づくり・勾玉づくり」	7月26日（金）	石こうで杏葉づくり、滑石で勾玉づくり 〔歴史資料館 中会議室〕
第3回「縄文土器をつくろう」 講師：香川 義文 氏（古賀市陶芸同好会代表）	9月28日（日）	縄文土器づくり 〔交流館 102 工芸室〕
第4回「古代食ってなあに？」	11月9日（日）	どんぐりクッキーづくり など 〔交流館 101 調理室〕

事業名	開催日・期間	内 容〔開催場所〕
夏休みれきし体験パスポート	7月19日（土）～ 9月7日（日）	歴史資料館展示物に関する「クイズ」や、けん玉、紙ずもうなどの「むかしのあそび」体験 など 〔歴史資料館展示室・ギャラリー〕
冬休みれきし体験パスポート	12月20日（土）～ 1月12日（月・祝）	
春休みれきし体験パスポート	3月19日（木）～ 4月5日（日）	



令和6年度 歴史資料館年間報告書

令和7年9月発行
〒811-3103 福岡県古賀市中央二丁目13番1号

古賀市立歴史資料館

TEL : 092 (944) 6214
FAX : 092 (944) 6215